化に向けて頑張っていきます。

*ワークショップ…地域住民などによる話し合いを通して、

由なコミュニケーションを行いながら、

何



団地の未来を みんなで話そう

本市にある多くの住宅団地では、人口減少や高齢化 が進んでおり、これらの住宅団地を活力ある団地に再 生するため、2020年度末までに活性化に向けた取り組 みなどをまとめた「団地再生計画(仮称)」を策定する こととしています。

【都市計画課☎216-1378[AX216-1398】

まずはみんなに

知ってもらい

加藤 俊文さん

などで一時離れましたが、40年近くこの団地に 伊敷団地が出来た頃から住み始め、 鹿児島西伊敷三郵便局局長

大学進学

西伊敷まちづくり協議 会会長、伊敷団地の商 店街会長などを務めて

取り組みを進めています。 3つの団地(伊敷・西郷・皇徳寺)で、 や学生などが一緒に団地活性化について考える この中で最も高齢化率の高い伊敷団地に住む 地域住民

計画を作るにあたり、

加藤さんに聞きました。

さまざまな立場で

タイプの異なる

第3回ワークショップでの話し合いの様子

出し合いました。 組み、

を克服するための取り組み 学生などにも参加してもら 力や課題について意見を出し合い、 3回目のワークショップ のアイデアを では団地の

地域住民のほかにも保育 地内の人だけでなく外部の から意見を出し合っていま ざまな人たちが参加し、 サービスの職員、 小学校の教職員、PTA役 商店街の र्ने 園や老人デ っています。 目線として大 れぞれの立 員など、 また、 西伊敷 さま 魅 寸

他の2つの団地 (西郷・皇徳寺団地) と連携するために、 団地対抗運動会など のイベントをしてみ たいです。



昨年12月に始まったワ

グループで話し合ったことを発表

若い目線を活用!団地の魅力と課題を発見 ~大学生の気づき~

地の活性化に向けた具体的な取り組みについて

とを話し合いました。

今後は、これらを基に団

え、伸ばしたいところや改善したいところを共

自分たちでできること、

やってみたいこ

これまで、伊敷団地の魅力や課題などを踏ま

う、゛きっかけ゛となる発言をするようにしてい

ています。私自身は、 ることができるので、

話し合いが活発になるよ とても有意義な場になっ 住宅団地の活性化に向けた*ワークショップ

さまざまな世代の人と自由な意見を共有す

検討していきます。

この取り組みは、

まだ始まったばかりなの

まずは伊敷団地の皆さんに存在を知っても

より多くの意見を聞きながら団地の活性

団地に長年住んでいると、なかなか気付かない伊敷団地の魅力や課 題を、若い目線で探すために行われた"大学生のまち歩き"。

その中で見つけた昔からある家具屋さんでは、店舗の一角にカフェ を開き、近隣の人たちが交流できる場を提供したり、スーパーまで買 い物に行けない人のためにお惣菜を販売したりしていました。

この他にも地域での見守り活動として月1回カフェを開き、近隣の 高齢者の語らいの場になっているギャラリーもありました。

高齢者がいつまでも住み続けられる、また若い世代の人たちが帰っ てきたくなる団地にしたいという思いで始められた2つの取り組み。 自分たちの住む団地を元気にする取り組みを、行政に頼らず、住民自 身がすでに始めています。



1 交流の場になっている家具屋の中のカフェ

2 手作りのお惣菜も販売

■ 月1回開くカフェ。近隣の人の語らいの場になっています

住宅団地の活性化に向けた詳しい取り組みについては、 ホームページをご覧ください。

(ワークショップでのこれまでの取り組みなどを掲載しています)

鹿児島市 住宅団地の活性化に向けて 検索



